

第1学年特別活動指導案

日時 平成16年8月31日(火) 5校時

学級 江刺市立江刺第一中学校 1年5組

男子21名 女子16名 計37名

授業者 瀧澤 郁子

- 1 題材名 「みんなでコミュニケーション」
～構成的グループエンカウンターを活用して～

- 2 生徒について

中学生となり、4月から新しい環境で新しい人間関係の中での生活がスタートした。学級は明るい雰囲気、班活動もスムーズに行われるようになってきた。比較的素直で向上心をもっている生徒も多い。しかし、一方で人が傷つくことを平気で言ったり、友達の呼びかけになかなか応じなかったり、すぐ暴力をふるったり、危険なものを持ち込んだりと心が十分に育っていない部分も垣間見える。こうした傾向は男子に多く見られるが、解決に向けて積極的に動けるリーダーがいないため、学級での生活が落ち着かない原因になっている。それに対して女子は学習や生活習慣がしっかりと身につけている生徒が多いが、周囲に積極的に働きかけをして学級をよくしていこうという姿勢はまだ見られない。

また、生育歴や家庭環境に複雑な問題を抱えている生徒も多く、能力的にもうまく人間関係を築けない生徒や、周りに遠慮して自分の考えを言えない生徒もあり、自己理解、他者理解が必要な状況にある。生徒たちはまだまだ表面的な人間関係しか築けず、自己開示し本音を言い合い、お互いを高めあうような関係にはなっていない。

話をしっかり聞く、時間を守るなどの基本的な生活態度や思いやりをもって生活する点に課題がみられるので、本活動を通して、「話を最後までしっかり聞く」「最後までしっかり話す(伝える)」「傷つけない」のルールを守ることも身につけさせていきたい。

3 題材設定の理由

学習指導要領では「学級活動においては、学級を単位として、学級や学校の生活への適応を図るとともに、その充実と向上、生徒が当面する諸課題への対応及び健全な生活態度の育成に資する活動を行うこと」とある。このことから学級は学校における生徒の生活単位組織として、学級としての固有の生徒活動が行われるとともに、学校における生徒の様々な活動の基盤としての役割を果たす場であるといえる。そのため、特別活動を進めるにあたって、生徒相互の望ましい人間関係や教師と生徒との信頼関係に基づく暖かい雰囲気づくりが前提となってくること、つまり、生徒が心理的に安定して帰属できる「心の居場所」としての学級づくりに心がけることが大切となってくる。

学校目標である「切磋琢磨」する生徒の育成を目指す上でも、学級生活を基盤に、集団生活や社会の一員としての望ましい資質や能力・態度を育てることが必要と考えた。

学校の生徒実態においては個人を集団に埋没させることなく、それぞれの個性を認め合い、伸ばしていくような活動を目指しているが、集団において自己開示できなかったり、自ら人間関係を築けずにいる生徒もいるため、本校では今後の特別活動に年間3～5時間程度、構成的エンカウンターを導入して生徒の望ましい人間関係を育てていきたいと考えている。

前述の生徒の実態と学校全体の実態も踏まえ、集団の教育力を活用して「個を育てる」ためには、構成的グループエンカウンターを活用が有効だと考えた。エクササイズという人と人とのふれあう体験を通して、生徒同士のリレーション（心のふれあい・学級の仲間との一体感）づくりを目指し、この活動の積み重ねによってあらゆる活動の基盤になる「心の居場所」「暖かな雰囲気と人間関係」づくりをねらいとして、本題材を設定した。

4 指導構想

(1) 本題材（構成的エンカウンター）にかかわる指導計画（5時間）

月	時間	エクササイズ名	活動内容	活動のねらい・効果
6月	1時間	「マインドマップ作り」	テーマに沿って連想したことをワークシートに書き、班の中で交流していく活動。	自分の意見をしっかり話すと共に相手の話を真剣に聞くよう配慮した。自由な発想へのステップと他者との発想の違いを発見し、他者理解を深める効果がある。
		「ペンの使い道」	ことばを使わず身振り（ジェスチャー）で思いつく限りのアイデアを相手に伝える活動。	ことばで伝えることの大切さや相互の人間関係をより密接にする効果がある。
7月	1時間	「バースデーライン」	お互いに誕生日を聞き合い、誕生日の早い順に並ぶ活動。	人任せにせず、自分から交流することの大切さを実感し、自己開示する効果がある。
		「好きな食べ物リレー」	自分の好きな食べ物をグループ内の友達に伝え、全員の好きな食べ物をリレーしてグループごとに速さを競う活動。	自己開示しながら友達の話をよく聞きつなげていく中で仲間意識づくりや他者理解を深める効果がある。

月	時間	エクササイズ名	活動内容	活動のねらい・効果
8月	1時間	「バースデーライン2」	ウォーミングアップ	7月とほぼ同じ。
	本時	「人間コピー」	本時のエクササイズ	(2)本時の指導構想参照
11月	1時間	「さいころトーク」	さいころを振り、出た目についてグループ内で自分の体験や考えを語り合ったり、聞き合ったりする活動。	さいころの目には自己開示しやすい項目から徐々に自己開示しがたい項目を盛り込んでいくことを考えている。
3月	1時間	「ぱちぱちカード」 「サンキューカード」	1, 2学期は頑張った人アンケートをとって集計し、学級通信で紹介してきたがまとめとしてお互いに友達の良さや頑張りを直接本人に伝え、自分でも気づかずにいた自分の良さを自己理解する活動。	もらうカードの枚数に大きな差が出ないように配慮しながら、新しい学年で出会う仲間と自信をもって関わっていきけるように進めていきたい。

(2) 本時の指導構想

「人間コピー」は、本時で取り扱うエクササイズで、6分割した1枚の絵を協力しながらグループ内で完成させていく活動である。絵を完成させるためには、一人一人が必要とされる活動となるため、真剣にお互いの話をよく聞き、伝えることの重要性や伝えようとしていることを理解しようとする聞き手側の姿勢が問われる。ともに支え合い、相互に補い合う関係、人間関係を深める効果を期待している。

11月に実施する「さいころトーク」は、7月おこなった「好きな食べ物リレー」よりも内面的な自己開示が求められるため、本時では、それにつながる活動として、自分が得た情報を正しく伝えるという活動を入れてみた。

10月には文化祭もあり、9月からは本格的に合唱コンクールに向けた取り組みがスタートする。その取り組みを有意義に進め、学級の仲間意識を育てていくためと、さらに今回の活動で新しい自分・見えなかった他者の発見を促し、新たな仲間づくりのきっかけ、コミュニケーションづくりのきっかけとしたい。

導入

- * インストラクション … 本時の目的、ルールについて理解させる。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 1. 聞く態度 話は最後までしっかり聞く 2. 会話への配慮 傷つけないように話す 3. 話す態度 最後までしっかり話す(伝える) |
|---|

- * ウォーミングアップ … 前回行ったエンカウンターでのウォーミングアップを踏まえ、学級内における男女の格差に注意がいく活動にならないよう心身の準備体操となり、「一人一人が伝え合う」ことが必要とされるエクササイズへの雰囲気づくりになるよう配慮したい。

整列完了時には簡単なシェアリングを行う。「一人一人が伝え合う」ことの大切さに気づかせたい。

展開

- * エクササイズ …… 前回行ったエクササイズではグループごとの仲間意識が高まり、その中でも学力上位の生徒はリレー順番が後半になる傾向が見られ満足度が高まる活動となったが、低位の生徒の中には自分が認められていないと感じた様子が見られた。そこで、グループ内の全員が同レベルで真剣に課題に臨まないと達成できないエクササイズを採用した。下位の生徒が逆に自己無能感におそわれぬよう配慮しながら、今回のエクササイズに取り組む中で相手にわかってもらえる伝え方や相手が話しやすい聞き方を気づかせたい。

終結

- * シェアリング …… 本時の中心となる活動であり、各自で本時エクササイズで学んだこと、考えたこと、感じたこと、気づいたこと等を振り返り、プリントに記入し、学級全体でシェアリングを行い、相手の情報を引き出したり、伝え合うことの大切さや相手がわかるような伝え方や相手が話しやすい聞き方には他者理解と思いやりが必要であることを気づかせたい。
また、感想では否定的であっても観察から様子に変化が見られてきた生徒もいるため、情意的に低位の生徒にも指名し、その様子を見たいと考えている。

5. 本時について

(1) ねらい

情報を正しく伝えるという活動を通し、情報を伝え合うためには、他者理解と思いやりが必要であることを理解する。

(2) 展開

	学習内容	生徒の活動	指導上の留意点
導入 5分	1 インストラクション 目的について ルールについて	目的は自分の情報を正しく伝えたり、人の話を真剣に聞き、その人の情報を引き出す練習であることを理解する。 ルールについて理解する。	目的を明確にし、活動に集中する雰囲気をつくるように配慮する。 ルールをしっかり理解させる。 * カードで提示。
	自分の情報をわかりやすく伝え、相手の情報をうまく引き出して「絵」を完成させよう。		
	2 エクササイズ 「人間コピー」	「人間コピー」のおよそのやり方を理解する。	* 1 / 6 の絵を貼った 6 個のボックス * 絵を描く紙 6 枚

<p>展 開 25 分</p>	<p>・やり方について 6個のボックスには1枚の絵を1/6に切ったものがはってある。それを一人30秒ずつ順番に見てきて言葉で説明する。一人につき持ち時間2分(見てくる30秒含まない)で1度は戻って見てもいいこととする。 グループで15分間。 話を聞く人はわからないことを質問して、伝えられたことを絵を描く担当になった人がどんどん描いていく。 一巡したら、全員で絵の組み合わせを考え、できるだけ与えられた絵に近い絵を完成させ台紙にはる。(5分)</p>	<p>準備を行う。 担当する色を決める。 自分の色のカードに自分の名前を書く。 箱の絵を見る順番を決める。 自分の順番をカードに書く。 絵を描く係を決める。 代理の人も決める。 絵を描く人の名前を絵を描く用紙に書く。</p>	<p>* のりで貼る台紙 1枚 * 「人間コピー」のルールプリント(グループごと1枚) * 分担カード 6色分 * グループ表示用円錐 * 鉛筆、マジックペン、のり、掲示用ボード、ストップウォッチ 絵を見る順番や絵を描く人が決まっていないグループがないか、名前の記入が終わっているか確認する。</p>
	<p>・約束について 箱の絵を見に行けるのは1人だけとする。他の人は立ち歩かない。 絵を見に行った人は絵を描くことはできない。ことばだけで伝える。描く紙を指さしながら伝えない。 30秒間待っている間、情報を伝えたり、絵を作業を続けてもよい。</p>	<p>約束を理解する。 ・自分の担当する色や順番、時間を守って行動する。 ・絵を見に行った人はことばで伝える。 ・30秒間待っている間、情報を伝えたり、絵を作業を続けてもよい。...等を理解して作業に取り組む。</p>	<p>情報をうまく伝えられない生徒の場合は聞き役の生徒に助言する。 攻撃的で乱暴な問いつめ方にならないよう配慮する。 生徒の邪魔にならないように巡回し、生徒達の発言に耳を傾ける。いい伝え方や聞き方をしている生徒はチェックしておく。</p>
	<p>・完成までの作業について 6枚の組み合わせを相談する。 Sカードは一度だけ一人に限り見に行ってもよいこととする。 組み合わせが決まったら、台紙ののりで貼り、提出する。</p>	<p>約束を守って、絵を完成させるために積極的に話し合う。 一巡したあとに6枚の絵の組み合わせを相談する。多少合わないところは手直しをし、決まったらのりで台紙に貼り、提出する。</p>	<p>台紙の向きは縦か横かも相談するように指示を出す。</p>
	<p>・完成した絵の評価</p>	<p>コピーしなければならなかった絵を見て評価しあい、自分達の情報の伝え方や聞き方を</p>	<p>コピーできたかに終始せず、情報の伝え方や聞き方がどうだったかを</p>

		振り返る。	を振り返えさせるよう 助言する。
終 結 15 分	4 シェアリング 各自の振り返り用紙 に記入 全体シェアリング	<p>本時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の感じたこと等を振り返り用紙に記入する。 書き終えたら指示が出るまで グループ内で発表しあいなが待つ。 ・学級全体で各グループ1～2名発表する。 自分では伝えているつもりでもうまく伝わらなかった。 見たことを伝えることは難しい。 〇〇さんはその人にあわせて上手に聞いていた。 大きさや形など細かく伝えるとうまく伝わる...など。 	<p>* 振り返りプリント</p> <p>グループ内で伝え方が いいと評価された生徒 に拍手を贈る。</p> <p>情意的下位の生徒に当 てその様子を見る。</p> <p>他者理解や思いやる気 持ちについても触れる。</p>

振り返り用紙

1年 5組 番

氏名

- 1 グループの中で誰の伝え方がよかったですか。1人（みんな頑張ったグループもいつもと見違えるくらいよかった人を！）選んで名前を書きましょう。
また、どんなところがよかったか、具体的にあげてみましょう。

誰が？	どんなところがよかったか、具体的にあげて書きましょう。

- 2 今日の活動はどうでしたか。気づいたり、感じたりしたことをまとめましょう。
うまくまとめられない人は次の項目を参考にしてまとめましょう。
- * 聞き方...どんな質問をしたり、どんな態度で聞くとよかったのだろう。
 - * 伝え方...どんなふうに話すと、うまく伝わるのだろう。

--

「人間コピー」

「人間コピー」はグループで1枚の「絵」を完成させる取り組みです。
1枚の絵は1/6に切っており、6個のボックスに1/6分の絵がはってあります。
グループで1人ずつ(7人班だけは2人のときもある)それぞれのボックスを見に行き、
見てきた「絵」をことばで残りの班員に伝えます。絵を描く係の人は伝えられたことを
絵に描いていきます。「絵」の説明がわからないときは聞く側の班員がどんどん質問し、
最後には6枚を正しく組み合わせて1枚の「絵」を完成させます。

1. 準備...次のことをみんなで相談して決めましょう。決まったら、のあとに書いてある
作業を進めましょう。

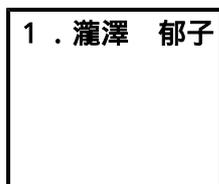
担当する色を決めましょう。

- 自分の色のカードに自分の名前を書きましょう。



箱の絵を見る順番を決めましょう。

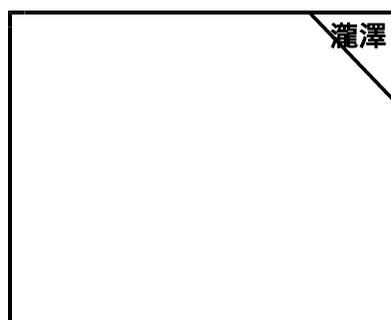
- 自分の順番をカードに書きましょう。



絵を描く係を一人決めましょう。

絵を描く係が絵を見に行くとき、代わりに絵を描く人も決めましょう。

- 絵を描く用紙に、係の人の名前を書きましょう。
(6枚全部)



- 名前を書いた側には
絵を描きません。
絵を描くのは名前を
書いたウラになります。

2. 約束

A 自分の担当する色や順番、時間を守りましょう。

- ・他の人が担当するときに、勝手に立ち歩いたり、箱を見に行ったりはできません。
- ・箱の絵を見に行けるのは 1 人です。
7 人班だけは一カ所だけ 2 人で見に行くことができます。
- ・箱の絵を見る時間は 30 秒です。
30 秒にならなくても戻って伝えていいです。
30 秒の間であれば、箱の絵を確かめに 1 度だけ戻ってもいいです。
見てきたことをグループのみんなに説明できるのは 2 分です。

B 絵を見に行った人はことばで伝えましょう。

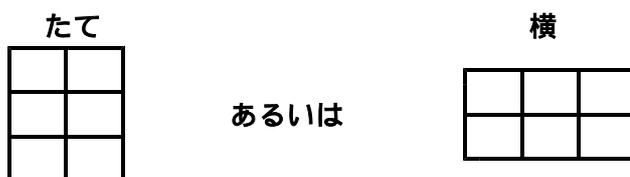
- ・見に行った人が直接紙に絵を描いてはいけません。
- ・絵を描く紙を指さして、場所や大きさを伝えてはいけません。
- ・ジェスチャー付きでことばで伝えることは OK です。

C 30 秒間 (絵を担当の人が見に行っている時間) 待っている間、情報を伝えたり絵を描く作業を続けてもいいです。

3. 完成までの作業...時間は 5 分間です。

6 枚の絵の組み合わせをみんなで相談しましょう。

絵の向きはたてか、横かも考えよう。



S カードについて

- ・完成までの 5 分間の中で使うことができます。
- ・S カードを使って見に行けるのはグループ内で 1 人だけです。
- ・見に行ける箱は 1 カ所だけになります。

組み合わせが決まったら、水色の台紙にのりではり、提出しましょう。
グループ名が書かれてある円すいも一緒に提出しましょう。